

平成31年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

我が国の総人口は35年後には1億人を割ると推計されており、三人に一人が65歳以上の高齢者となります。富山県の高齢化率は全国平均よりも高く、直接的な課題として労働者人口がさらに減少します。

一部の企業ではすでに、定年退職年齢を引き上げる動きが始まっています。そのため70歳若しくはそれ以上まで働くことがスタンダードとなることが想定されます。

厚生労働省はシルバー人材センター31年度関連予算について、全国の拠点センターの会員数の減少状況を鑑みて運営費の削減を行い、会員数の増加割合に応じた加算措置としました。

当センターの会員数も、設立20周年を迎えた平成28年度までは右肩上がりに伸びていたが、近年、若干名の減少、請負契約金額も農林水産分野の一部を除きほぼ全般において減少傾向にあります。

シルバー人材センターにおいては、このような厳しい状況下において、平成31年度は「中期5ヶ年計画」の最終年を迎え、会員拡大、就業拡大等事業強化を図りながら、高齢者がますます活躍ができる環境づくりを目指すと共に現事業を発展的に維持できるよう努めたいと思います。

また、高齢者の受け皿としての機能を十分に果たし、地域社会に貢献してまいりたいと思います。

事業実施計画

1 目標値の設定（5ヶ年中期計画数値）

- | | |
|---------------|----------|
| (1) 会員数 | 145人 |
| (2) 契約金額（請負分） | 54,200千円 |
| (3) 就業実人員 | 133人 |

2 高齢者就業機会確保事業の推進

事業所及び公共機関等への情報収集を行い就業機会の確保に努めます。

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業の拡充

派遣による就業拡大は増えてはいるものの、現在の会員数ではすべてのニーズに対し対応ができていないため、会員の拡大がすべてに優先する。

- (2) ニーズの拡大が見込まれる「家事生活援助サービス」及び「介護保険者の家事支援」の充実を図るため高齢者会員の就業確保に努めます。
- (3) 就業基準単価を4月より改正し、就業に係る成果を高めて会員の満足度を若干でも高める。

3 会員の拡大

- (1) 会費規程の改正による「初年度会費の免除」により新規入会者に係る負担を軽減し入会促進を図ります。
- (2) センターの広報誌「あさひ」並びにホームページによる、独自事業等の仕事以外の魅力ある活動のPRに努めます。
- (3) 生きいきサロン「アイリス」を利用する趣味の会等各種団体への参加型入会の勧誘を図る。
- (4) 女性の会員拡大を図るため、「女性会員の集い」等にさらに情報発信を図りながらロコミ作戦を強化し入会促進を図ります。また、引き続き超高齢者等の会員継続について、身体に負担のかからない軽度の就業を紹介し人材確保に努めます。
- (5) 会員の社会活動促進として、町や各種団体のイベント及びボランティア活動への参加を呼びかけ、町民に対するシルバー人材センターのイメージチェンジを図る。

4 安全・適正就業の推進

平成30年度の傷害事故件数は3件、賠償事故件数が1件（損害保険なし）及び車両事故件数が1件あり、特に、草刈りの飛び石による対物事故は自損事故が1件となり、平成26年度以降大幅に減少しております。

安全就業研修会等を毎年開催し安全対策に対する自己意識の変化と組織としての取組みによる成果と思われまます。今後、「事故0」を目標に講習会の開催及び研修会への参加等併せて会員の意識改革に努めてまいります。

作業現場の安全パトロールについては、引き続き周知徹底を図り注意喚起に努めます。

次に、適正就業については、就業機会の公平化をさらに徹底し、未就業会員の解消に努めます。また、請負作業も契約書類の内容等を確認し、不適切な請負が疑われる契約については、労働者派遣契約に切替えるか適正な請負契約に改善します。

5 独自事業の推進

高齢者会員の受け皿としてもこの事業を継続するよう関係機関等に働きかけていきたいと思えます。

(1) 買い物支援移動販売事業

国の補助対象事業として3年、その後町の委託事業として3年目となります。4地区7町内を週に1回販売をしております。

今年度からは、移動販売に合わせて一人住まいの安否確認を買い物客からの情報を通して行うことになりました。そして、食料品以外の日用品等の注文販売も行います。

福祉事業としての役割を担うものであり、その成果が発揮できるよう就業会員も資質向上に努めます。

(2) 認知症カフェ事業<オレンジカフェほっとアイリス>

開設5年目を向えます。参加者はほぼ定着した感があるが、サポート役の就業会員及び指導者は、現状に満足することなく、他の施設の内容も参考にしながら充実した内容及び参加者への対応を向上させたい。

(3) 軽度生活援助事業

介護サービスを優先とする制度条件がありますが、介護的福祉サービスの家事支援は、今後ニーズが増えると思うので、常時対応ができるように努めたいと思えます。

(4) 「生きいき農園」の生産及び販売

会員が栽培した葉物野菜、冬場の大根、ねぎなどの季節野菜をセンターのフロアーにて販売しています。

(5) ふれあいサロン<アイリス>の開放

各種団体及びサークル活動等の拠点として、地域住民の触れ合いの施設として定着しております。さらには、認知症カフェ等委託事業もこの場所で開催しております。

(6) その他の事業

① 古本の貸出し。

サロン「アイリス」前のフロアーを利用し、古本の無料貸出しをしています。

② 女性会員の集い

50名弱の女性会員を対象に昼食会を兼ねて、いろいろな情報を吸収でき

る場として、また、楽しい憩いの場として年1回開催しております。

③ 正月用の門松造り

日頃お世話になった事業主等に安価で販売。

年末には、地元の朝市にて販売しています。特に、一般家庭用のミニ門松が人気商品である。

④ 刃物研ぎ

使い慣れた包丁、ナタ、鎌、剪定鋏等の研磨をしています。近年は、リピーターが多くなり非常に喜ばれています。

⑤ 布草履編み教室

会員有志の協力により公共施設やイベント会場での販売も行っており、地道な活動を続けております。

⑥ 芋煮会

「生きいき農園」で収穫した里芋や野菜をふんだんに使い、会員はもちろん多くの町民にも食べていただきました。

⑦ 健康麻雀会

「賭けない、吸わない、飲まない」をモットーに2月に大会を開催しております。ゲームとしての脳の活用と指を動かすことによる脳の活性化のため、さらには、職群が違う会員同志の交流の場となっています。教室を開催しながら拡大を図りたい。

6 財政基盤の確立

人件費の見直しを図ると共に、管理費の縮減及び事業運営の効率化を目指します。

(1) 事務局体制の充実

多様化するシルバー事業に対応するため各種研修会等に参加し、いろいろな観点から物事を考え判断できるよう職員の資質向上を図ります。

(2) 会員が主体となって事業運営、組織運営を図ります。

(3) 今後五ヶ年の事業運営の指針として「第二次中期計画」を策定します。